

議会だより Vol.15

伊那市議会事務局
TEL0265-968149
FAX0265-769117
Email: gkj@nactv.jp

総務委員会レポート

伊那市の教育について

総務委員会では昨年9月30日に総務委員と教育委員の懇談を行いました。また、10月29日に開催された教育委員会定例会を傍聴し、その後、新山小学校の授業を参観しました。

教育委員会との懇談会

懇談会のなかで意見交換された内容の一部を紹介します。

◎議員からの質問

Q 教育委員長と教育長の違いはどんなことですか。

A 学校、生涯学習、スポーツなどは毎日動いているので、その都度、教育委員長が教育委員会を開いて対応を協議することは困難です。そのため一定の権限が教育長に委任

されています。

Q 議員提案は学校にどのようなふうに伝わっていくのですか。

A 学校長は教育課程を編成する権限をもっています。一般質問に出た内容は、すべて定例教育委員会で報告を受け、基本的には年3回開催される校長会などで質問や答弁の内容、議員からの要望などを伝えていきます。

Q 新聞に教育委員会制度の改革案が掲載されました。教育行政の独立性や中立性が危ぶまれるのではないかと心配ですがいかがですか。

A 現在、中央教育審議会で審議されていますが、現行の制度について大きく次の三つの問題が指摘されています。
(1)教育委員会は責任の所在があいまい。
(2)月一程度開かれる教育委

員会による意思決定では、迅速性・スピード感に欠ける。

(3)教育長以外の委員が非常勤であるため、日々変化する教育問題に迅速に対処し、責任を果たしていくには、おのずから限界がある。

伊那市の教育委員会にあっては、そうしたことが指摘されるよう運用に努めています。

◎教育委員からの質問

Q 教員の非遵行などの報道が続きましたが、議員はどう受け止めていますか。

A まさにモラルの問題だと考えます。

A ストレスがたまっていることに問題があると思います。

教育委員会ってなに

教育委員会は合議による教育行政執行機関

教育は中立性の確保が極めて重要であり、教育行政の安定性・継続性を図るため、合議制による執行機関としての役割を求められる。

教育委員会制度の意義

①地方自治の尊重
住民の意思が行政に反映されること。

②教育行政の中立性と安定性の確保

選挙で選ばれる自治体の長から独立した合議制の執行機関が教育行政を行う。

③指導行政の重視

指導・助言・援助などの非権力的作用を中心として教育行政を行う。

④教育行政と一般行政の調和

教育行政も地方公共団体の処理する事務の一つであり、市長との連携を図りつつ教育行政を行う。

⑤国・県市との連携

全国的な教育水準の維持向上や教育機会均等を図る観点から、義務教育国庫負担制度など国・県・市の連携が図られる配慮がされている。

⑥生涯学習など教育行政の一体的な推進

創造的で人間性豊かな人材を育成するため生涯学習の推進をはじめ、教育・文化・スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく。

新山小学校の授業を参観しました

新山小学校は伊那市で唯一の

小規模特認校となっています。

「少人数学級で子どもを学ばせたい」、「豊かな自然のなかで活動をたっぷりさせたい」といった特色ある教育環境を生かし、一人ひとりの個性を大事にし、明るく伸び伸びとした教育を保護者が希望する場合、一定の条件をもとに校区を超えて市内どこからでも入学または転学が認められた学校です。通学区域外からの入学・転学は、通常学級での就学が可能と認められた児童が対象となります。



委員長 飯島 進
副委員長 橋爪重利
委員 黒河内浩 飯島光豊
柴満喜夫 新井良二
飯島尚幸